

令和4年度
東京都北区立赤羽台保育園
事業報告書

東京都北区立赤羽台保育園
指定管理者
社会福祉法人 茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

保育標準時間 7:15～18:15 保育短時間 8:30～16:30

② 実施事業

延長保育 18:16から20:15の2時間 1時間補食 2時間夕食提供

休日保育 年始1月1日～1月3日を除く日曜祝日

子育て支援 子育て相談 子育て情報の発信 親子わらべうたの会

③ 児童処遇

0歳児…ひよこ組 1歳児…うさぎ組・いちご組 2歳児…ぱんだ組・たんぼぼ組

3歳児…きりん組・こじか組 4歳児…はと組・つばめ組 5歳児…ほし組

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	12	38	38	38	38	38	202
4年4月	12	42	42	42	42	38	218
5年3月	12	42	42	42	42	39	219

④ 職員体制 (3/31時点) ※ () はパート職員

園長	1名	奥戸
主任保育士	1名	井上美
保育士	48名 (13)	千脇、眞壁、高田、廣瀬、金子、西野、清水、庄司、前島、立花、渡辺典、野村、高橋美、下地、山内、山室、名塚、勝連、富田、佐々木聖、高橋梨、渡邊美、小野遥、太田、平田、中山直、富塚、齋藤優、舘野、森田、青木、小野花、鳥居、中山愛、茂木、(大橋)、(小熊)、(小林)、(丸山)、(小池)、(荻山)、(中内)、(高橋順)、(藤岡)、(長澤)、(佐々木亜)、(林)、(齋藤正)
保育補助	7名 (7)	(安東)、(石垣)、(芳賀)、(長谷川)、(町田)、(渡辺)、(滝元)
栄養士	3名	酒井、元木、原山
調理師	4名	小山、門脇、前田、井上真
調理補助	1名 (1)	(長谷川)
看護師	2名	岩田、大橋
事務員	2名	百地、松瀬
用務員	1名 (1)	(村上)

2. 年間行事実施状況

4月	進級式 入園式 全園児健診
5月	子どもの日の集い 田んぼどろんこ遊び (4・5歳児) 懇談会
6月	保育参観(乳児) 起震車訓練
7月	プール開き 七夕 引き渡し訓練

8月	
9月	歯科衛生指導（5歳児） 引き渡し訓練
10月	運動会 歯科検診（全園児） 秋のバス遠足（4・5歳児） 全園児健診
11月	保育参観(乳児) 焼き芋パーティー（4・5歳児） 引き渡し訓練
12月	おおきくなったねの会（3・4・5歳児） スクールコンサート お楽しみ会 尿検査（幼児）
1月	初釜（5歳児） 魚を知ろうの会 引き渡し訓練
2月	節分 お別れカレーパーティー（5歳児）
3月	お茶会（4歳児） ひなまつり会 活け花（5歳児） お別れピクニック（5歳児） 卒園式 引き渡し訓練

3. 職員研修実績 【外部研修】

月	件数	参加者
4月	0件	
5月	3件	廣瀬・高橋美・富田
6月	10件	井上美・千脇・廣瀬・清水・前島・立花・高橋美・名塚・勝連・ 佐々木・渡邊美・高橋梨・中山直・大橋・酒井・元木
7月	5件	高田・高橋美・小野遥・岩田・大橋
8月	2件	高橋美・山内
9月	5件	奥戸・高田・下地・岩田・大橋・酒井
10月	2件	山内・平田・酒井
11月	4件	酒井・門脇・前田・百地
12月	2件	岩田・酒井・元木
1月	5件	高橋梨・小野遥・館野・酒井・原山
2月	1件	元木・原山
3月	2件	勝連・百地
年1回		法人 新採用職員研修・パワーハラスメント研修

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議・給食会議	正職員	毎月1回
保育内容検討会議	各クラス担任	毎月1回
乳児会	各クラス担任	毎月1回
異年齢会議	リーダー職員	毎月1回
巡回指導による要支援児会議	各クラス担任	年10回
衛生委員会	衛生委員	毎月1回
園内研修 1年目職員研修	1年目職員	年2回
2・3・4年目職員研修	2・3・4年目職員	年2回
5・6・7年目職員研修	5・6・7年目職員	年2回
キャリア職員研修	8年以上職員	年2回
救命救急研修	全職員	年1回

保健衛生研修 こどものとも社 オンライン研修 東京都社会福祉協議会	正職員 全職員 全職員	年 12 回 年 7 回 年 4 回
---	-------------------	--------------------------

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和4年度（自）令和4年4月1日（至）令和5年3月31日」参照。

5. 評価および反省

<3, 4, 5歳児、同学年保育から異年齢保育へ切り替え 移行の一年>

令和5年度より、より一人ひとりの人権を尊重した保育へ、年齢ごとに分けて保育を行うのではなく、年齢の垣根を取りはらい子ども達が交じり合って生活する異年齢保育へと幼児組を移行することに決めた。能力の差「できる・できない」を皆でプラスにして活かし合い、人間関係を横にも縦にも斜めにも広げていく子ども主体の保育である。職員間で学び合ったことを、懇談会、説明会、座談会などを開き、保護者へ説明を行い、移行へのご理解とご協力をお願いしてきた。厳しいご意見をいただくこともあったが、北区保育課に状況を報告しながら、ご意見をいただいた保護者には誠意ある対応を行った。

異年齢保育の意義である①自分との違いを知る経験になる。②真似て学ぶ相手がいる。③自分の役割をもつ。④年長児の自信や思いやりの気持ちが育つなど、子どもの心の育ちをご理解していただき、保護者、自治体と協働して、より「子ども中心・子ども主体」の保育を定着させて信頼を得ていきたい。ご理解して下さる保護者も増えている。令和5年1月から週1回異年齢保育を行いながら、3月末から、幼児組126名が6つのおうちに分かれて異年齢での生活を始めた。保護者の声を伺いながら、子ども達の最善の利益を目指して安全第一に進めていきたい。

<保育の質の向上を目指して>

1, コロナ禍3年目、保育 ICT システムコドモンを本格活用して、園児の情報管理、全クラス動画（月1回）2歳児以上ドキュメンテーションで毎日の保育の様子、わらべうたの紹介、毎日の給食の写真や献立表発信、保育計画、各種記録作成、園便り、保険だよりの配信、また、コドモンオンライン研修を行った。ICT リテラシー会議を開きながら、より保護者にとって分かり易く、職員は、正しく安全に活用できるように話し合ってきた。

2, 保護者参加行事では、保育参観、懇談会、運動会、おおきくなったねの会には、多数参加していただき、子どもたちの成長を共に祝った。また、赤羽自然観察公園野外炉での火起こしからの焼き芋会（4, 5歳児）、カレーパーティ（5歳児）は、多くの保護者がボランティアとして参加し、園の子ども主体の保育を理解していただく機会になっている。

3, 情動が気になる子、支援が必要な子どもについて、北区の発達心理士の助言を受けて保護者面談を丁寧に行い、関係機関への接続につなげた。発達相談や就学相談を通して、その子らしく安心して成長できるように連携した支援を行うことが出来た。

4, 東京都福祉サービス第三者評価を行った。利用者調査結果からは、概ね満足されており、保育理念、保育方針をご理解いただいていると感じた。

<保育者採用・メンター制度の導入>

長期的に安定した運営に向けて、正規職員の採用に力をいれた。保育者養成校との信頼を築いてきたことで、養成校2校から新卒、キャリア採用につながった。メンター制度を設けたことで職員間の善い関係性が生まれている。誰もが働き易い職場づくりを目指していきたい。